

医学部後援会

副会長 小笠原 範之

早いもので今年もカレンダーでは半分、企業の会計年次では最初の四半期が過ぎようとしています。企業では連日「株主総会」が開催されており、わが後援会も6月は「年次総会」の季節です。今年も6月23日（土）に、本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー地下1階の大会議室とお隣りの大食堂をお借りして、年次総会を盛大に開催することが出来ました。当日はあいにくの雨模様でしたが、会員・ご招待の皆様合わせて約140人が参加されました。

◆参加された皆様のお目当ては、毎回もちろん講演です。今年も、順天堂医院長の天野 篤先生にお忙しい中『順天堂医院長としての2年間の振り返り』というテーマでご講演をいただきました。最近のわが国のみならず、世界の医療の現状、順天堂の取り組み、そして天野先生が、会員の子弟でもある若き医師達に伝えたい想いを、スライドを駆使して解り易く、40分にわたり極めて率直に熱く語っていただきました。参加者の中には医療に携わる方々も多く、皆さん天野先生のお話に頷いたり、熱心にメモを取ったりされていた姿がとても印象的でした。



天野先生にご講演いただきました

◆医学部後援会学術奨励賞は、今年も2名の方に決まりました。

お一人は、猪俣武範先生（眼科学講座助教・2006年卒）、もうお一人は末吉 亮先生（小児外科学講座非常勤助教・2005年卒）でした。総会の場で表彰状が授与され、お二人から受賞のご挨拶がありました。

◆総会議事では前年度の「活動報告」「収支報告」「会計監査報告」に続き、今年度の「活動計画」「収支予算」が承認されました。その中で新たに、会員子弟のお子さん（会員のお孫さん）がお世話になる順天堂大学医学部附属病院の「保育所、育児施設への寄付・寄贈試案」が了承され、1年間の試みがスタートすることとなりました。試行の過程、結果につきましては、今後継続してご報告させていただきます。

◆最後に、会を締めるホームカミングデー・レセプションが賑やかに開催され、多くのご招待該当年次の皆様を中心に、和やかに旧交を温めることが出来ました。

以上、今年の総会のご報告をさせていただきました。